

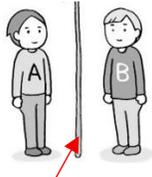
# ほけんだより

令和7年8月  
6年生  
ほけんしつ

8月2測定のときに、6年生に「からだの境界線（バウンダリー）」について、お話をしました。

## 「境界線（バウンダリー）」と「同意」

自分のからだ<sup>じぶん</sup>と他の人のからだ<sup>ほか</sup>のまわりには、目には見えない「境界線（バウンダリー）」<sup>きょうがいせん</sup>があります。



境界線（バウンダリー）

その境界線<sup>きょうがいせん</sup>を越えてほかの人<sup>ほか</sup>に入ると、不快<sup>ふかい</sup>に感じたり、不安<sup>ふあん</sup>に感じたりします。不快<sup>ふかい</sup>に感じるスペースはひとこと<sup>ひと</sup>人それぞれ異なり、また、時と場合によっても変化<sup>へんか</sup>します。

お母さんに抱きつかれるのはいいけど、親戚のおじさんは何となくイヤな感じがする。

友だちと手をつなぐのはいいけど、髪をさわられるのはイヤだなあ。

兄弟の顔が近づくのはいいけど、友だちの顔が近いと怖い感じがする。

Aさんに抱きつかれて、昨日はよかったけど、今日はイヤだと感じたな。



みんなはプロレスごっこ楽しそうだけど、私は好きじゃないな

境界線は人によってちがいます

### 大切なこと

- 人によって「いいと感<sup>かん</sup>じること」「いやだと感<sup>かん</sup>じること」は違<sup>ちが</sup>う。
- あなたの境界線<sup>きょうがいせん</sup>はどんなときでも尊重<sup>そんちょう</sup>されるべきもの。
- いやなときは「いや」と言う権利<sup>けんり</sup>がある。がまんしないで！  
どうしても言<sup>い</sup>えないときは信頼<sup>しんらい</sup>できるおとなに話<sup>はな</sup>してね。  
(※相談機<sup>そうだんき</sup>関<sup>かん</sup>があることも伝<sup>つた</sup>えました。裏面<sup>りめん</sup>に載<sup>の</sup>せています。)
- 同意<sup>どうい</sup>がない場合は、境界線<sup>きょうがいせん</sup>をこえてはいけな<sup>い</sup>い。

「自分は平気だから相手も大丈夫なはず」と決めつけず、どんなときも相手の意思を確認する必要があります。



こちょこちょしてもいい？

いいよ！

はっきり「OK」の意思表示があれば同意

いや

「NO」もしくははっきり答えていないときは×

うーん…



相手<sup>あいて</sup>がはっきり「いいよ」と同意<sup>どうい</sup>していないのに、相手<sup>あいて</sup>の体<sup>からだ</sup>に触れ、境界線<sup>きょうがいせん</sup>を越えてしまうと、それはスキンシップではなく「暴力<sup>ぼうりょく</sup>」になってしまいます。



ふだんの生活<sup>せいかつ</sup>の中で何気なくおこなう「こちょこちょ」や「だきつき」「プロレスごっこ」…、親しいからこそその光景<sup>こうけい</sup>ともとれますが、常に相手<sup>あいて</sup>が心地よいと感じているとは限りません。相手<sup>あいて</sup>の同意<sup>どうい</sup>がなければ、相手<sup>あいて</sup>を傷<sup>きず</sup>つけてしまうことにもなります。

### おうちのかたへ…

日常的に相手<sup>あいて</sup>の意思<sup>いし</sup>を確認<sup>かくにん</sup>し、同意<sup>どうい</sup>をとる習慣<sup>しゅうかん</sup>を身につけておくことは、のちに性加害<sup>せいかがい</sup>や性被害<sup>せいひがい</sup>を防ぎ、自分自身の心とからだを守ることにつながります。(性的同意<sup>せいせきどうい</sup>と言います。)

また、家庭<sup>かてい</sup>の中で、子ども<sup>こども</sup>の「NO」という意思表示<sup>いしひょうじ</sup>を尊重<sup>そんちょう</sup>し、いったんその気持ち<sup>きもち</sup>を受け止めてもらっていると、「嫌<sup>いや</sup>なときにNOとっていいんだ」と感じ、<sup>かん</sup>「NO」と意思表示<sup>いしひょうじ</sup>する力<sup>ちから</sup>が身につきます。また、相手<sup>あいて</sup>の境界線<sup>きょうがいせん</sup>も尊重<sup>そんちょう</sup>できるようになると言<sup>い</sup>われています。

今後も学校<sup>こうこう</sup>で心<sup>こころ</sup>や体<sup>からだ</sup>、性<sup>せい</sup>に関する話<sup>はなし</sup>をしていきたいと思っています。内容<sup>ないよう</sup>をお知らせしますので、ぜひご家庭<sup>かてい</sup>でもお子さまと話<sup>はなし</sup>をしたり、一緒<sup>いっしょ</sup>に考<sup>かんが</sup>えたりする機会<sup>きかい</sup>にいただけたらうれしいです。  
※次<sup>つぎ</sup>は「こころの境界線<sup>きょうがいせん</sup>」についてお話<sup>はなし</sup>する予定です。